

# 2. 2025年度 活動報告

---

# 総務委員会報告

理事	豊田	明美	ポーラ化成工業株式会社
委員長	安保	孝幸	花王株式会社
副委員長	西川	昌輝	東京大学
委員	石川	晋吉	日本たばこ産業株式会社
	今井	教安	株式会社コーセー
	大竹	利幸	株式会社資生堂
	清水	健司	日光ケミカルズ株式会社
	高石	雅之	株式会社マンドム
	中島	めぐみ	株式会社アルビオン
	渡辺	真一	ライオン株式会社

# 2025年度活動報告

1. 社員総会・会員総会のとりまとめ
2. マンダム動物実験代替法国際研究助成への対応
3. 化粧品等の安全性確保を目的とした  
NGRA(Next generation risk assessment)に関する  
研究助成金への対応
4. 各賞（学会賞、功労賞、日化協LRI賞や優秀論文賞 等）の対応
5. 理事会・学会事務局との対応
6. 理事会・委員長会議・社員総会・会員総会などの  
運営および議事録作成
7. その他（HP修正や学会内規修正対応 等）

# 2025年度 企画委員会活動報告

2025年11月1日 社員総会

	担当理事 委員長	山下 邦彦 池田 英史	ダイセル マンダム	19名
学会シンポジウム 分科会	副委員長 委員 委員 委員 委員	飯島 一智 棟近 由記美 清川 順平 伊藤 達彦 福田 隆之	横浜国立大学 日本農薬 中外製薬 ILSI Japan ボゾリサーチセンター	5名
技術セミナー 分科会	副委員長 委員 委員 委員 委員 委員	成田 和人 清水 健司 中村 牧 水谷 多恵子 山口 宏之 逸見 敬弘	食品薬品安全センター-秦野研究所 日光ケミカルズ 小林製薬 CIEL 関東化学 マツモト交商	6名
講習会 分科会	副委員長 委員 委員 委員 委員 委員	西浦 英樹 西條 拓 畠中 内子 半田 由希 榎本 詢子 栗原 浩司	TOA ポーラ化成工業 ジャパン・ティッシュエンジニアリング 倉敷紡績 島津製作所 日本精化	6名

# 活動実績

## (1) 学会シンポジウム分科会

### ➤ 第38回大会（横浜）企画委員会シンポジウム

「未来につながる新技術の萌芽」を企画：11/3 シンポジウム20として開催

13:20～15:10 シンポジウム20 / Symposium 20  
「企画委員会主催シンポジウム」

第4会場(G418・G419)

オーガナイザー：飯島 一智(横浜国立大学)  
座長：山下 邦彦(株式会社ダイセル)  
池田 英史(株式会社マンダム)

Organizer : Kazutoshi Iijima (Yokohama National University)  
Chair : Kunihiko Yamashita (Daicel Corporation)  
Hidefumi Ikeda (Mandom Corporation)

[ 未来につながる新技術の萌芽 ]

[ Exploratory Research Shaping the Future of Alternatives to Animal Experimentation ]

#### S20-1 三次元培養皮膚モデルの痒み研究への応用

Application of human 3D skin models for studies on itch

○鎌田 弥生、外山 扇雅、種元 七海、古宮 栄利子、富永 光俊、高森 建二

順天堂大学大学院 医学研究科 環境医学研究所・順天堂かゆみ研究センター

○Yayoi Kamata, Sumika Toyama, Nanami Tanemoto, Eriko Komiya, Mitsutoshi Tominaga, Kenji Takamori

Juntendo Itch Research Center (JIRC), Institute for Environmental and Gender Specific Medicine, Juntendo University Graduate School of Medicine

#### S20-2 微粒子曝露における代替法評価モデルの発展とヒト皮膚応答の検証

Advancement of Alternative Evaluation Models for Particulate Exposure and Investigation of Human Skin Responses

○河野 まおり

(株)マンダム 先端技術研究所

○Maori Kono

Mandom Corp. Advanced Technology Institute

#### S20-3 ポリアミン誘導多能性幹細胞とその応用

Polyamine-induced pluripotent stem cells and their applications

○塩見 尚史

神戸大学 先端膜工学研究センター

○Naofumi Shiomi

Research Center for Membrane and Film Technology

#### S20-4 生体内のせん断ストレスによるアミロイド線維形成のモデルシステムと、動物実験代替法としての可能性

A model system for the in vivo shear stress-dependent amyloid fibril formation and a possibility for an alternative to animal experiments

○後藤 祐児

大阪大学大学院 工学研究科

○Yuji Goto

Graduate School of Engineering, The University of Osaka

# 活動実績

## (2) 技術セミナー分科会

➤ In vitro皮膚感作性試験法EpiSensA技術セミナーを開催（24.8.5, 6）

講師：水町 秀之先生（花王株式会社）

講師サポート：花王様、コーセー様、ライオン様、ジャパン・ティッシュ  
エンジニアリング様

場所：日光ケミカルズ株式会社 R&Dセンター中央研究所（東京都板橋区）

人数：20名（個人会員4名、賛助会員8名、非会員7名、個人会員入会1名）



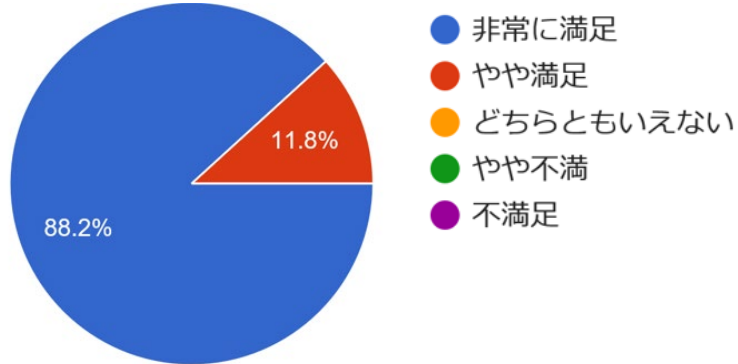
# 活動実績

## (2) 技術セミナー分科会

### ➤ アンケート結果

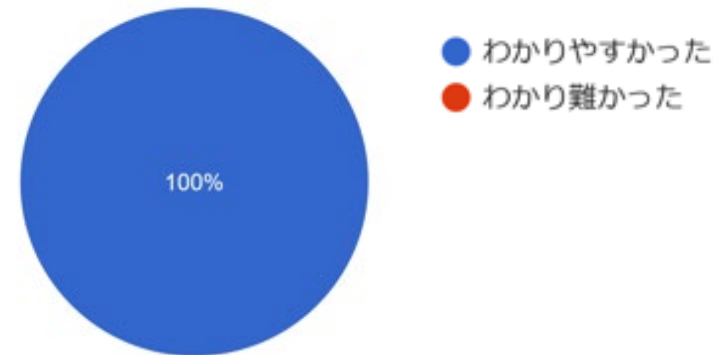
セミナー全体を通しての満足度について教えてください。

17件の回答



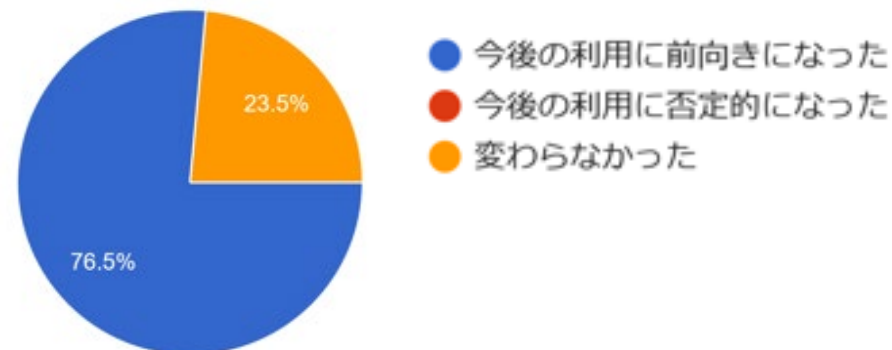
セミナーの内容はいかがでしたか？

17件の回答



セミナー受講後、EpiSensAの実施に対する意識に変化がありましたか？

17件の回答



### 全体的な感想

- ・ SOPに記載されていない注意点、コツが学べた
- ・ 初心者でも分かりやすい内容であった
- ・ 実験手技のノウハウポイントが学べた
- ・ 講師の先生方が充実していて、質問がしやすかった
- ・ 経験が浅い分、手技の部分でもう少し詳しく知りたかった  
(時間が足りなかった)

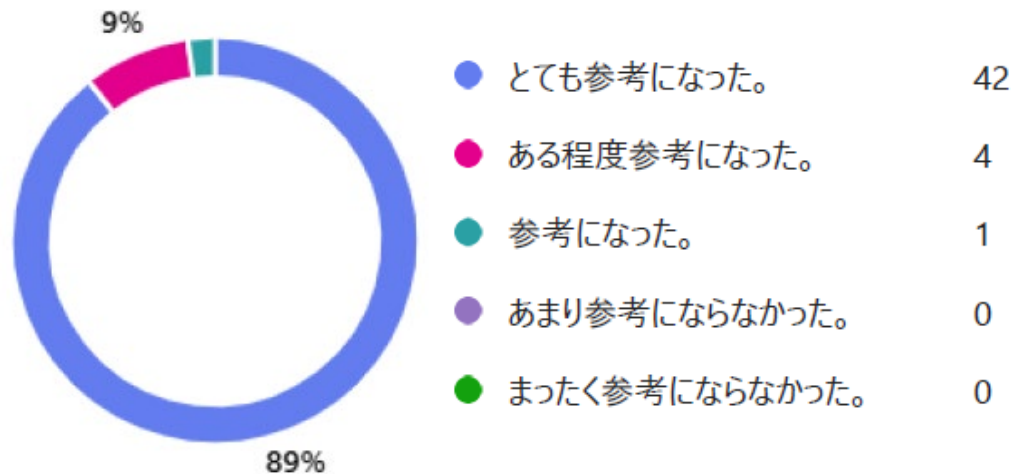
# 活動実績

## (3) 講習会分科会

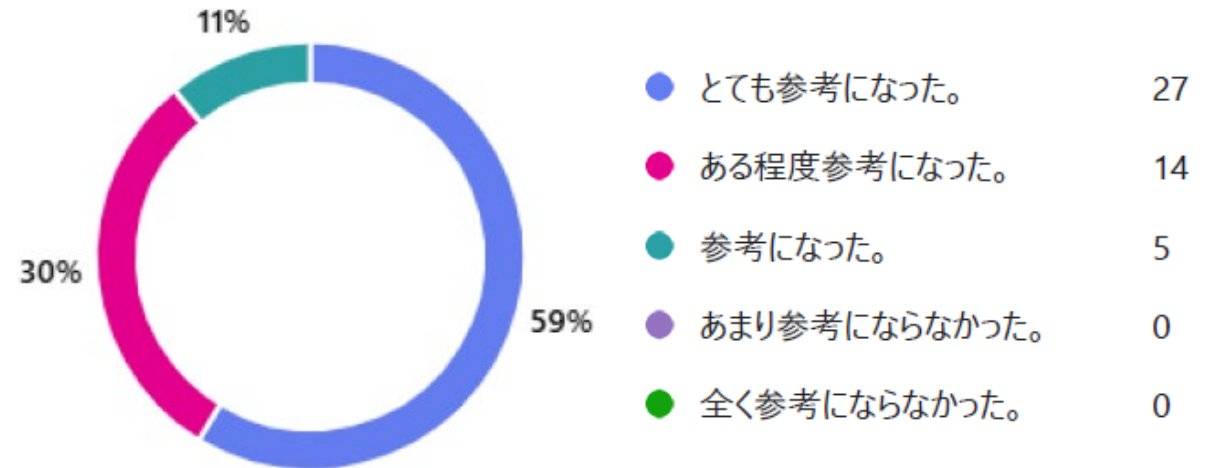
- 「いま押さえておきたい動物実験代替法の展開ー皮膚感作性と全身毒性 (NGRA)ー」日本化粧品工業会 NGRA WGとのジョイント開催 (25.8.28 WEB開催)

人数：124名 (個人会員・賛助会員82名、非会員23名)

講習会は参考になりましたでしょうか？



NGRA (Next Generation Risk Assessment) のパートは、参考になりましたでしょうか？



今後取り上げて欲しいテーマはありますか？

- ・NGRA、NAMs、in silico
- ・皮膚感作性 (具体的な活用事例、行政受入れの実態など)
- ・毎年、学びの場として継続して欲しい (初心者でも分かりやすい内容の継続希望)

非会員の比率が減少してきており、  
代替法学会外への案内・周知活動に課題

# 2025年編集委員会

理事	石田	誠一	(崇城大学)
委員長	古水	雄志	(崇城大学)
副委員長	廣田	衛彦	(資生堂)
編集委員	松下	琢	(崇城大学)
	今井	弘一	(大阪歯科大)
	中澤	浩二	(北九州市立大学)
	飯島	一智	(横浜国立大学)
	木村	啓志	(東海大学)
	前田	和哉	(北里大学)
	尾形	信一	(横浜国立大学)
	奈良岡	準	(アステラス製薬株式会社)
	土屋	敏行	(Meiji Seikaファルマ株式会社)
	鈴木	真	(沖縄科学技術大学院大学)

# 2025年度活動報告

## 1. 2025年度発刊報告(2024年9月-2025年8月)

AATEX Vol.29(2024), No.1,とNo.2の発行を行った。

第37回大会Supplementの発行を行った。

(2025年9月～)

AATEX Vol.30, No.1 J-stage2025年9月末掲載、準備中(冊子体印刷準備)

Vol.30, No.2 準備中 (J-stage2025年12月末予定、冊子体印刷)

## 2. 学会誌の活性化に向けた活動報告

編集委員会で策定した「AATEX活性化案」に沿って、以下の項目を行動目標として活動している。

- 1) PMC収載関係の対応として、投稿規定の改訂、査読ガイドライン、倫理規定の改訂審議を進めている。2026年1月に投稿規定のHP公表を目指す。引き続き、PMC収載に関する準備を進める。
- 2) AATEX活性化について国際化を含め検討を進める。  
⇒2026年度にAATEXの編集業務並びにOA出版の外注化を進める(オンライン出版のみ)。
- 3) AATEXの充実と投稿数を増やすために、今後さらに、会員の皆さんから積極的な投稿をお願いします。

## 3. 2024年 AATEX優秀論文賞 (2025年選定)

# 2024年AATEX 優秀論文賞(2025年選定)

受賞者：Ikuya Yamamoto (東京理科大学)

共著者：Yuika Sekino, Kouji Kuramochi, Yuuki Furuyama

論文タイトル：Developing an *In Vitro* Culture Model for Four Commensal Bacteria of Human Skin

受賞者：Qinge Liang (東京大学)

共著者：Kevin Montagne, Takashi Tsuboi, Tetsuya Kitaguchi, Takashi Ushida, Katsuko S. Furukawa

論文タイトル：Adenoviral Transduction of a FRET-Based Sensor for Measuring Intracellular Tension in Primary Rat Mesenchymal Stem Cells

受賞者：Shoka Takebayashi\* (崇城大学)

共著者：Kureha Suzuki\* (\*co-first authors), Ayaka Nagayoshi, Ryota Oyafuso, Takuya Okazaki, Katsuhiko Esashika, Yuichiro Higuchi, Shotaro Uehara, Hiroshi Suemizu, Yuji Komizu, Taku Matsushita, Seiichi Ishida

論文タイトル：Enhanced Functionality of Human Hepatocytes using the Oxygen Permeable Culture Plate for Optimized Oxygen Supply in Co-culture Systems with Culture Inserts

# 広報委員会報告

役職	氏名	所属
理事	古川 克子	東京科学大学
委員長	西川 昌輝	東京大学
副委員長 HPグループリーダー	堀口 一樹	大阪大学 秋田大学 (2025年6月～)
幹事	Hyunjin Choi	東京大学

役職	氏名	所属
	石塚 典子	静岡県立短期大学
	岡田 真幸	テルモ株式会社
	加藤 義直	日本メナード化粧品株式会社
渉外グループリーダー	北村 浩	酪農学園大学 東北大学 (2025年1月～)
	小林 太郎	株式会社池田理化
	小林 諒太	住友化学株式会社
NLグループリーダー	篠原 満利恵	東京大学
	Seo Jieun	横浜国立大学
	曾原 喜一郎	ロート製薬株式会社
	花田 三四郎	群馬パース大学
	樋下 万純	一般財団法人 化学物質評価研究機構
	保坂 卓臣	静岡県立大学
	西口 翔悟	株式会社メニコン
MNグループリーダー	渡邊 (徳永) 彩乃	関東化学

# 2025年度活動報告

## 1. ホームページの更新及びリニューアル対応

- 2024年9月にWebサーバーを新規契約・移転の上、管理業者を変更し、管理体系を構築した
- より信頼性の高いドメイン（jsaae.net→jsaae.or.jp）を取得し、2025年7月より運用を開始した
- ウェブサイト更新依頼、計91件に対応した（2024年9月～2025年8月）。

## 2. メールニュースの発信

- サーバー変更に伴い、業者に依頼せず、委員のみでメールニュースの配信に対応できるようスキーム構築と担当の見直しを行った。
- 全会員・代議員に加えて、賛助会員・名誉会員のメーリングリストを作成した。
- 迅速な情報提供：2025年度は計62件を発信（2024年9月～2025年8月末）  
【内訳】全会員 50件、代議員 8件、賛助会員 3件、名誉会員 1件
- 月1回の頻度でメーリングリストの情報更新を行った。

# 2025年度活動報告

## 3. ニューズレターの発行

- 2025年度は3通（No. 76、77、78）<sup>1), 2), 3)</sup> 発行した。
- 2026年度分としてNo.79は、2025年1-2月に発行予定である。

- 1) 日本動物実験代替法学会第37回大会の案内（2）、2024年度 学会賞決定報告、2024年度 日化協LRI賞決定報告、第17回マンガム動物実験代替法国際研究助成助成金交付者決定報告、動物実験代替法チャレンジコンテスト2024開催報告、企業探訪シリーズ第2回 株式会社マンガム、企業探訪シリーズ第3回 エリクサジェン・サイエンティフィック・ジャパン株式会社、2024年度 企画委員会主催 技術セミナー開催報告、MPS World Summit 2024 参加報告、研究室紹介 第15回 東京科学大学 古川研究室、リレーエッセイ第2回 動物実験代替法と医療機器の生物学的安全性評価
- 2) 日本動物実験代替法学会第37回大会を終えて、日本動物実験代替法学会第38回大会のご案内、2024年度 会計報告、2025年度予算報告、学会賞（Replacement）を受賞して、優秀論文賞を受賞して、第21回韓国動物実験代替法学会（KSAAE）年会への活動参加、代替法学会アジア連盟 The Asian Federation of the Societies for Alternatives to Animal Experiments（AFSAAE）の設立と今後の発展、動物実験代替法チャレンジコンテスト2025（告知）、2024年度企画委員会主催 講習会開催報告、リレーエッセイ第3回薬事行政と医療機器の生物学的安全性評価について、研究室紹介 第16回 千葉大学 生物薬剤学研究室
- 3) 第38回大会のご案内、第18回マンガム動物実験代替法国際研究助成 助成金交付者決定報告、2025年度 日本動物実験代替法学会 日化協 LRI 賞、2025年度 企画委員会主催 技術セミナー開催報告、動物実験代替法チャレンジコンテスト 2025 開催報告、企業探訪シリーズ 第4回 アステラス製薬株式会社、第22回韓国動物実験代替法学会（KSAAE）年会への参加報告、第8回 TATT-CSOT への参加報告、WC13（第13回世界代替法会議）への参加報告、研究室紹介 第17回 東京科学大学 梶研究室第38回大会のご案内、第18回マンガム動物実験代替法国際研究助成 助成金交付者決定報告、2025年度 日本動物実験代替法学会 日化協LRI賞、2025年度 企画委員会主催 技術セミナー開催報告、動物実験代替法チャレンジコンテスト2025開催報告、企業探訪シリーズ 第4回アステラス製薬株式会社、第22回韓国動物実験代替法学会（KSAAE）年会への参加報告、TATT-CSOCへの参加報告、WC13への参加報告、研究室紹介（東京科学大学 梶研究室）

## 4. 渉外活動

- 2026年 日本実験動物学会総会におけるJALAS・JSAAE 共同企画プログラムについて、JALASの先生方との調整を継続的に実施。
- 外部団体との意見交換を定期的に行った。

HPの更新にご尽力いただいた総務委員会や財務委員会をはじめとした各委員会の皆様に心よりお礼申し上げます。

# 2025年度 国際交流委員会報告

担当理事：酒井康行（東京大学）

委員長：畑尾正人（日本化粧品工業会）

副委員長：佐久間めぐみ（株式会社コーセー）

委員：石川晋吉（日本たばこ産業株式会社）

尾上誠良（静岡県立大学）

関根秀一（株式会社資生堂）

武吉正博（化学物質評価研究機構）

堀 武志（国立医薬品食品衛生研究所）

三竹博道（株式会社ジャパン・ティッシュエンジニアリング）

宮下敦嗣（帝京大学）

安彦行人（国立医薬品食品衛生研究所）

山田隆志（国立医薬品食品衛生研究所）

Johan Lauwereyns（九州大学）

# 国際対応

## 1. 国際交流委員会のPurpose

動物実験代替法の普及を目指した交流活動を通じ、JSAAEの国際的なプレゼンスを高める。

## 2. 3Rsを念頭に、欧米アジアとの交流を継続

- ・ 海外の関連学会に参加し、交流を行った。(4AC:酒井理事、宮下委員、ASCCT:山田委員、MPS WS:諫田副理事長、堀委員、KSAAE:西條先生、TATT:宮下委員)
- ・ The 13th World Congress on Alternatives and Animal Use in the Life Sciences (WC13)にてシンポジウム「Challenges in Asia to adopting the 3Rs across areas of animal use」を開催した。(オーガナイザー：酒井理事)

## 3. Asian Federation of Societies for Alternatives to Animal Testing (AFSAAE)への協力

- ・ 初代Chairは酒井理事。JSAAEからは小島理事と藤堂理事がBoard of Directorsメンバーとして参加。
- ・ AFSAAE事務局はJSAAE国際交流委員会にて対応。

# 国際対応

## 4. Asian Federation of Societies for Alternatives to Animal Experiments (AFSAAE)の活動

- ・アジアにおける動物実験代替法の普及促進のため、日本、韓国、インド、中国の4か国でAFSAAEを設立し、2024年12月にインドにて設立調印式を行った。
- ・2025年8月にスリランカの新規加入が認められた。
- ・AFSAAE Young Science Forumを設立（宮下委員が世話人）。
- ・AFSAAEのOfficial Journal発行について検討中。
- ・2027年にWC14開催に合わせて韓国で5 ACを開催する方向で検討中。

<https://www.afsaae.org/>



# 国際対応

## 5. 第38回大会国際交流シンポジウムを企画・準備

- ・第38回大会における国際シンポジウムのタイトルを「New trends in Asian alternative research」と定め、演者を選んだ。

オーガナイザー：酒井 康行

小島 肇

座長：宮下 敦嗣（帝京大学）

Tae-Eun Park（Ulsan National Institute of Science and Technology）

講演者：小島 肇（山口東京理科大学）

関根 秀一（株式会社資生堂）

Tae-Eun Park（Ulsan National Institute of Science and Technology (UNIST)）

Vijay Pal Singh（Institute of Genomics and Integrative Biology）

Ling Leng（Peking Union Medical College）

- ・第37回大会に引き続き、会費制のJSAAE International mixerを企画（大会1日日夜）
- ・第38回大会においてもESTIV賞を選出する予定。（諫田副理事長）

# 会員サービス

## 6. 会員への国際情報発信を強化

国際情報を積極的に収集し、メールニュースで海外関連団体情報を10回発行した。(124～133)

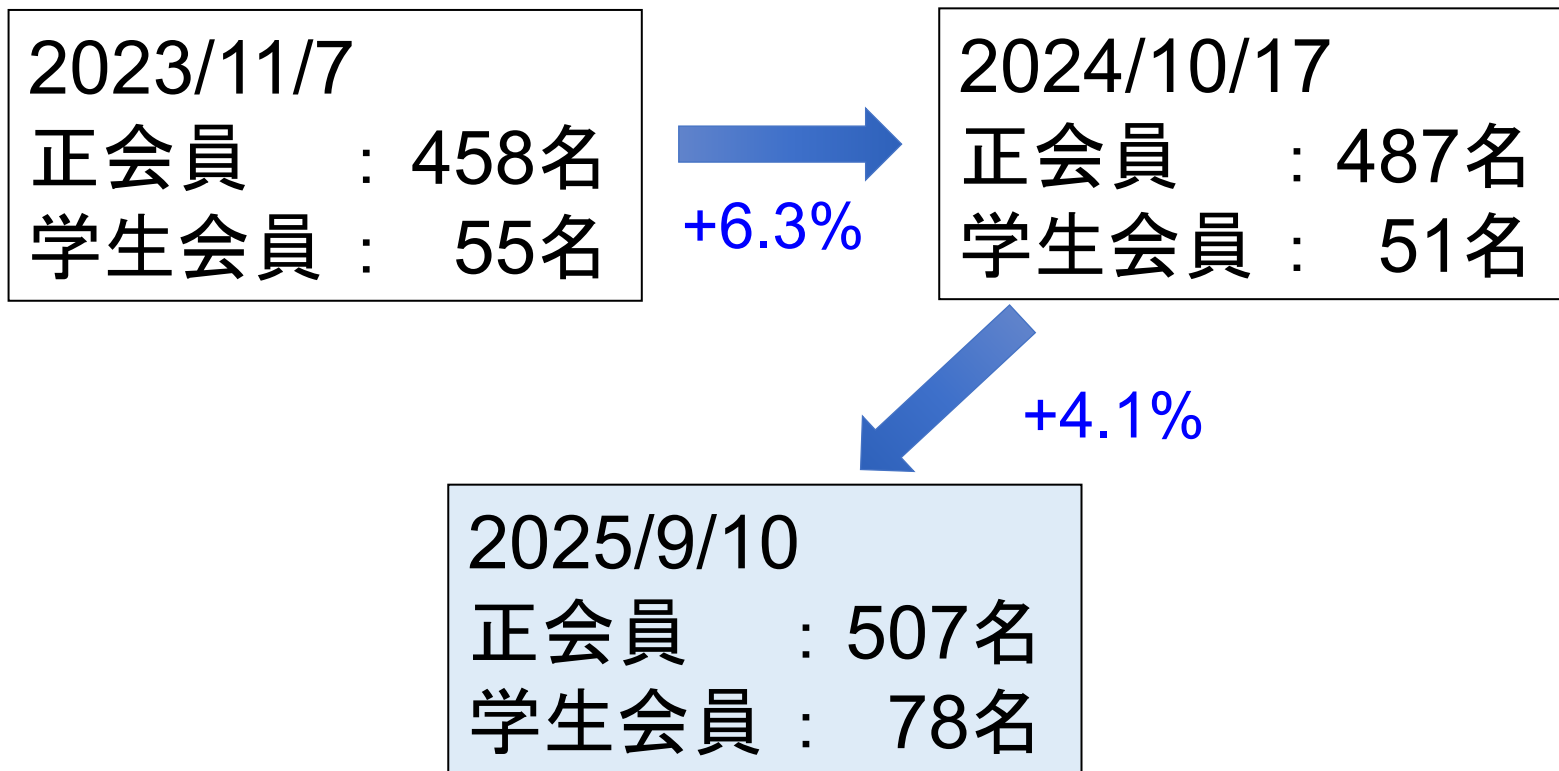
## 7. The 13th World Congress on Alternatives and Animal Use in the Life Sciences (WC13) へのトラベルアワード

ブラジルで開催されるWC13参加に対する支援としてトラベルアワードを募集したが、応募はなかった。

# 会計・財務委員会 2025年度活動報告

担当理事	笠原 利彦	(富士フイルム株式会社)
委員長	梅下 和彦	(サンスター株式会社)
副委員長	竹内 和也	(日産化学株式会社)
委員	有田 裕子	(ピアス株式会社)
	小野 敦	(岡山大学)
	中村 牧	(小林製薬株式会社)
	萩野 滋延	(内閣府食品安全委員会事務局)
	波多野 浩太	(ホーユー株式会社)
	三田地 隆史	(株式会社ダイセル)
	三橋 舞子	(オリンパスメディカルシステムズ株式会社)
	野澤 洸太	(オリンパスメディカルシステムズ株式会社)
	本山 順子	(ライオン株式会社)
	高橋 越史	(日機装株式会社)
	庄山 育美	(株式会社フコク)
	平林 智美	(株式会社メニコン)

# 1. 正会員数の推移



**前年度と比較して、4.1%増加**  
(前年度と集計の時期が違いため、参考まで)

**年会費収入は、450名で予算立て**

## 2. 賛助会員の推移

■ 2025年度の賛助会員数：64社/団体 → 2026年度：65社/団体

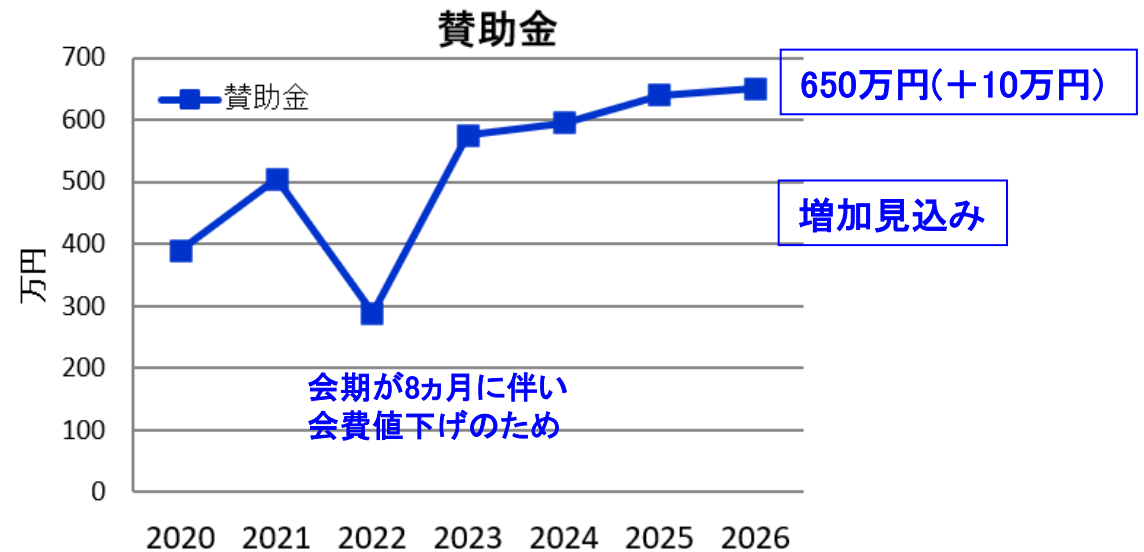
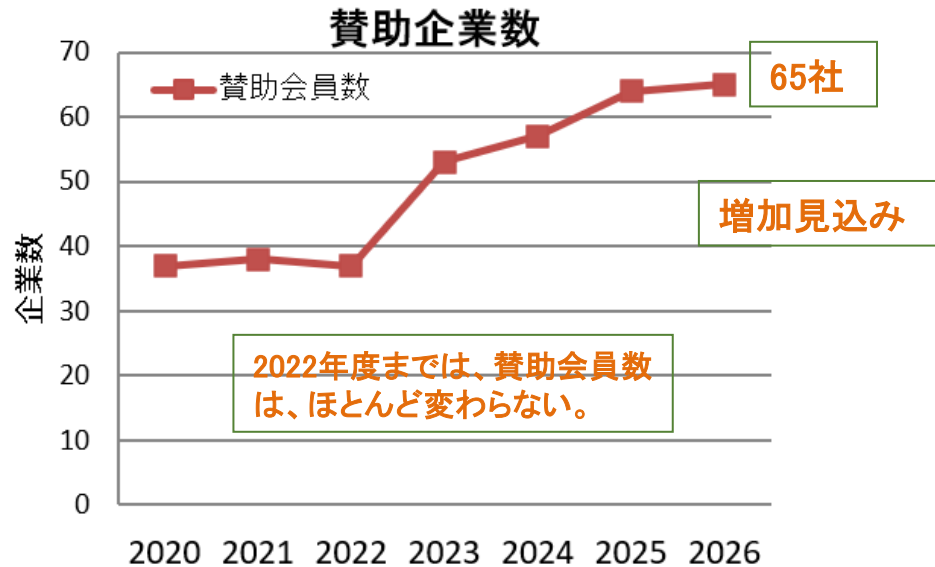
Total  
640万円

25年度 ■ プラチナ : 2社(±0社) 5口(±0口) → ±0社 ⇒ 2社、5口(予定)

■ ゴールド : 16社(+2) → +1社 ⇒ 17社(予定)

■ シルバー : 46社(+5) → ±0社 ⇒ 46社(予定)

26年度  
Total  
650万円  
(+10万円)



\*: 2025年9月10日時点

### ■ 勧誘活動

以前から当学会の年大会に参加して頂いた企業または団体に、メール、電話およびWeb会議でお声がけをさせていただきました。

賛助会員の企業様にご協力に感謝いたします。

### 3. 未納者数 (2025年9月11日時点)

- 1) 未納者に対しては、メールおよび電話で会費納入を催促し、3ヶ月経っても納入がない場合は、さらにメール等で会費の納入を促した。
- 2) 会費納入を促進するために、コンビニでも納金可能なSMBCの振り込み方式を、2022年から導入した。

■ 未納者 2024年10月:47名 → 2025年9月:21名 **26名減**

	2024年10月	2025年9月	回収率
・2022年以前より滞納	3名	⇒ 3名 (0名納金)	0%
・2023年より滞納	2名	⇒ 1名 (1名納金)	50%
・2024年より滞納	42名	⇒ 17名 (25名納金)	60%

#### ■ お願い

- ✓ SMBC用紙によるお振込の他、クレジットカード決済も可能です。
- ✓ ご所属等、ご本人様以外のお名前でのお振込及び、SMBC振替払込取扱票を使用せずにお振込いただく場合は、メールまたはファックスで**学会事務局宛**ご連絡ください。
- ✓ 個人の費用を、会社が入金する場合は、誰の費用なのか分からないため、メールまたはファックスで**学会事務局宛**ご連絡ください。

# 学術委員会報告

理事	小島 肇	国立医薬品食品衛生研究所
委員長	(令和7年7月15日まで)	
	福田 淳二	横浜国立大学
副委員長	(令和7年7月15日より委員長代理)	
	杉浦 慎治	産業技術総合研究所
副委員長	藤堂 浩明	城西大学
委員	寒水 孝司	東京理科大学
	河野 まおり	マンダム
	尾上 誠良	静岡県立大学
	前田 和哉	北里大学
	高橋 裕樹	ILSI Japan
	関根 秀一	資生堂
	佐藤 あやの	岡山大学
	鈴木 真	沖縄科学技術大学

# 2025年度活動報告

- 1) マンダム研究助成金の審査
- 2) 学会賞の公募要領の修正と審査
  - 個人またはグループにて応募できるように、推薦書の書式を整備し、公募要領に記載
- 3) 日化協LRI賞の審査
- 4) 化粧品等の安全性確保を目的としたNGRA (Next generation risk assessment) に関する研究助成金の審査
- 5) 第38回大会の大会表彰
  - 実施要領の作成、ポスター賞の投票システムの準備など
- 8) 国内の関連学会や関係機関との渉外
  - 化学とマイクロナノシステム学会との覚書締結
  - 化学とマイクロナノシステム学会との共催セッション (第38回大会)

# 3Rs啓発委員会

## 活動メンバー

理事	吉成	浩一	静岡県立大学
委員長	梨本	裕司	東京科学大学
副委員長	堀口	一樹	大阪大学（現 秋田大学）
委員	小林	太郎	株式会社池田理化
委員	藤本	和也	京都大学
委員	菅野	佑介	東京科学大学
委員	渡邊	（徳永） 彩乃	関東化学株式会社
委員	山口	愛	関東化学株式会社
委員	河野	まおり	株式会社マンダム
委員	三竹	博道	株式会社ジャパン・ティッシュエンジニアリング
委員	湯浅	敦子	富士フイルム株式会社
委員	福元	健志	三井化学クロップ&ライフソリューション株式会社
委員	高島	宏昌	株式会社ボゾリサーチセンター
委員	松井	等	横河電機株式会社
委員	吉澤	美沙	ポーラ化成工業株式会社
委員	中川	翔太	花王株式会社

# 3Rs啓発委員会 2025年度 活動報告

## 動物実験代替法チャレンジコンテスト

昨年度に引き続き、高校生、中学生を対象とした、動物実験代替法のアイデアを募るコンテストを実施。6校から9作品の応募を得た。

- ・書類審査（7月下旬） 9作品 → 6作品
- ・プレゼンテーションによる最終審査会（8月中旬、報告レポート参照）
- ・最優秀賞 受賞校の年会招待（本会）

## 出前講義

動物実験代替法を中心とした講義を、高校生、大学生に実施した（大学1、高校9、中学1）。

### 出前講義実施校

崇城大学（熊本）、相模女子大学高等部（神奈川）、長崎県立長崎東高等学校（長崎）、東海大学付属高輪台高等学校（東京）、大阪府立箕面高等学校（大阪）、大阪府立東住吉総合高等学校（大阪）、第一学院高等学校博多キャンパス（福岡）、英心高等学校桔梗が丘校（三重）、EIKOデジタル・クリエイティブ高等学校（埼玉）、チャレンジコンテスト参加校（各種）、大阪教育大学附属天王寺中学校（大阪）

## 企業探訪

企業を対象に、3Rsへの取り組み、本学会に向けた希望などをヒアリングした。本年度は、アステラス製薬株式会社さまへヒアリングを実施した。学会のニューズレターで掲載予定である。

# SDGsワーキンググループ\_2025年度活動報告 (全体)

- シニア会員制度チーム
- 企業とアカデミアの連携強化チーム
- 化粧品セーフティアセッサー (SA) 教育プログラムチーム

No	氏名	所属	シニア会員制度	企業とアカデミアの連携強化	SA教育プログラム
1	理事	古川 克子	東京科学大学	○	
2	委員長	古屋 律子	エル・シー・エス (株)		●リーダー
3	副委員長	小島 伸彦	横浜市立大学		●リーダー
4	新委員	足利 太可雄	国立医薬品食品衛生研究所		○
5	新委員	古水 雄志	崇城大学	○	
6	委員	坂口 斉	花王 (株)	○	○
7	委員	篠原 満利恵	東京大学	●リーダー	
8	新委員	成田 和人	一財) 食品薬品安全センター秦野研究所		○
9	新委員	廣田 衛彦	(株) 資生堂		○
10	新委員	福元 健志	三井化学クロップ&ライフソリューション (株)	○	
11	委員	Montagne Kevin	東京大学	○	
12	理事長	板垣 宏	ITACSコンサルティング	○	○

# 2025年度活動報告

## ■ シニア会員制度チーム

- ・ 2024年度の議論を踏まえた情報共有
- ・ 理事会でのシニア会員の会員要件、定款、定款施行細則変更案に関する審議 →承認
- ・ 定款、定款施行細則確定版を総務へ提出
- ・ 総会（第37回大会）での審議 →承認
- ・ シニア会員制度への切り替え受付開始（財務委員会主導）

### 目的

- ・ **知識や経験の伝承、継承** → **学会の設立背景や歴史、関連する学術背景などの知の共有**
- ・ **会員数減少の抑止** → **超高齢社会での学会の活性化**

# 2025年度活動報告

## ■ 企業とアカデミアの連携強化チーム

- ・ 第38回学術大会にてシンポジウム開催を決定

**シンポジウム8「博士取得のススメ」 11月2日（日） 9:00～10:50／第3会場**

**(10:50～11:30 個別相談会)**

オーガナイザー：古川 克子（東京科学大学）・古屋 律子（エル・シー・エス株式会社）

座長： 古川 克子（東京科学大学）・小島 伸彦（横浜市立大学）・古屋 律子（エル・シー・エス株式会社）

演者： 酒井 康行（東京大学）

藤堂 浩明（城西大学）

尾上 誠良（静岡県立大学）

加藤 淳彦（中外製薬株式会社）

平河 聡（ポーラ化成工業株式会社）

演者：登壇順

# 2025年度活動報告

## ■ 化粧品セーフティアセッサー（SA・安全性評価者）教育プログラムチーム

進捗なし

IKW（ドイツ化粧品・トイレタリー・香水・洗剤協会）より提供されるNAMsに関するプログラムの日本語字幕作成を担当する予定。

- 日本化粧品学会及び日本化粧品工業会と協力し、教育プログラムを監修
- IKWが提供しているSA教育プログラム活用につき、意見を集約し日本化粧品学会運営チーム会議にて報告
- “JCSS/DGK Safety Assessor” の合意に向けサポート

\*JCSS(Japanese Cosmetic Science Society 日本化粧品学会) \*DGK(German Society for Scientific and Applied Cosmetics ドイツ科学・応用化粧品学会)

